

### 問 サプライチェーン税制に特化した産業誘致の考えは

答 町単独では大手企業の誘致は困難です

#### 防音工事の現状は

防音工事施工に係る費用の増額が4月1日より行われますが、本町におけるB、C、それぞれの工法について、進捗と状況を示してください。

#### 町長

令和6年2月末現在、274棟の住宅で住宅防音工事の認定申請を受け付けています。そのうち工事が完成しているのは28棟となっております。依然として認定申請から完成に至るまで時間がかかっているところです。住宅防音工事の実施主体であるNAAおよび



住みよい環境を

#### 活力のある町を

国の大きな政策転換が図られている、経済安全保障政策に合致した進め方を伺います。企業誘致について、現在進行している予定を含めた構想や展望をお尋ねします。また半導体・蓄電池・SAFなど、サプライチェーン税制に特化した産業誘致の考えは。

#### 町長

国の政策による経済安全保障推進法に基づき、特定重要物資の指定を受けた半導体などを安定供給する民間事業者の誘致が、国家プロジェクトにより進められています。経済安全保障に合致した企業誘致に関しては、産業構造の変化

### 勝又 一徳 議員

所要時間 93分



や市場ニーズの変動を把握することが重要になりますが、町単独では特定重要物資を製造するような大手企業や海外企業の誘致は困難なため、千葉県が関与し、国主導による積極的な施策展開が必要だと考えます。今後も千葉県や関係機関と連携協力し、空港周辺へ立地を希望する企業動向などの情報共有を図り、企業



企業誘致の今後は

町の発展に向けて

ニーズの把握に努め、町内への企業誘致を推進してまいります。  
産業誘致については、地域がタッグを組んで、1市2町や3市3町などの大きな産業立地の構想を出してみたいかが、それが政治力だと思っています。  
町長 それぞれの自治体で、都市計画マスタープランに沿って、計画的に進めている状況であり、今後も空港圏9市町で意見交換をしてまいります。  
空港地域振興室長 県内初の地域末来投資促進法による重点促進エリアの設定(成田市・多古町)という共通点から意見交換をして、協力・連携して企業誘致などを検討していきたいと考えます。

### 問 はげども園の待機児童対策は

答 保育教諭の確保が最重要課題です

#### 子育てにやさしい町のために

こども園に待機児童が9人発生、子育てにやさしい町がなぜこのような事になったのか伺います。

#### 町長

こども園では保育教諭を増員して対応してきましたが、昨年10月から0歳児クラスに定員以上の入園申し込みがあり、3月1日現在、9人の待機児童が出てまいりました。

園長は待機児童が出た時点どのような行動を取られましたか。このような事態を想定されていなかったのか伺います。

#### はげども園園長

待機児童を初めて確認したのは、秋頃だったと思います。できる限り受け入れたいが、安全・安心を確保する為に一線を引きました。

待機児童が出た時点で、町長は対策についてどのように考えましたか。

#### 町長

保育教諭の確保が難しい現状ですが、今後、最重要課題として取り組んでまいります。

子どもの出生数をとらえれば予測できたのではないですか。

#### はげども園事務長

入園希望児童数の把握はその時々によって変わってくるため、難しいものだと感じています。

これまでの事例を予測し綿密に対策をすれば回避できたのではないかと伺います。

#### こども園園長

今年度、待機児童が出たことは、私自身分析もしていませんし、エビデンスもないので、出生数をもって、こども園の生後6か月の利用者数を予測することは難しいと思います。

#### 町長

来年度は学級編制を変え、フレキシブルに先生方が0歳児に移動できるように体制を整えていく対応をしてまいります。

三つのゼロは本町一番の売りであり、守る責任があります。今後どのように死守していくかを伺います。

#### 町長

子育て支援トップクラスを目指し、三つのゼロを掲げているので、町長として、この三つのゼロが実現できるよう最大限の

### 橋本 孝之 議員

所要時間 60分



学童保育所の運営が社会福祉協議会から民間に委託されることですが、現状を伺います。

#### 町長

予算成立を条件に受託候補者が決定しており、運営移行の準備を進めています。また、支援員については一部の退職者を除き継続される予定です。

子どもたちに対して楽しみを増やす企画などの考えはありますか。

#### 子育て支援課長

支援員や保護者の方に負担をかける事無く、定期的に開催するような計画でいます。

#### プログラミング教育が目指すものは

ICTアドバイザーによるプログラミング教育の目的とは。



子どもたちの理解度向上のために

コンピューターがプログラミングで動いていることを理解し、コンピューターを上手に活用する力を身に付けることが、これからの社会を生きていくうえで大変重要と考えています。  
既に実施している久賀小学校以外でも今後取り組みの予定はありますか。  
教育長 すべての学校でプログラミング学習の取り組みを進めると共に、小学校3年生以外の学年でも新たな学習計画を作成してまいります。  
学校教育課長 来年度はほかの小学校でもICTアドバイザーの助言をいたしながら、効果的で効率の良い教育環境の整備を目指していきます。

※サプライチェーン…商品が消費者に届くまでの原材料の調達、製造、物流、販売といった一連の流れのこと  
※SAF…持続可能な、再生可能または廃棄物を原料とするジェット燃料